

## 2011 春闘も大詰め、二次回答も引き出されています！

5/13 大学五単組正規・春闘第2回統一団交開催！ 交渉内容を評価し交渉終結！

寺尾専務から、東日本大震災被災地支援、阪神地区からも派遣ができたこと、対策本部に事業連合労組が加わったことについてお礼が述べられました。専務より新学期の状況報告、各単協からの報告がありました。理事会は「供給高で前年比約 4500 万円、予算比が約 5000 万円。事業剰余で前年比約 4300 万円、予算比が 4800 万円。大震災の影響で消費が冷え込むと想定している、極めて厳しいスタートとなった。あらためて一次回答の考え方を理解してほしい。」と発言がありました。

労組は「そんな中でも現状打開が展望できる貴重な取り組みやヒントが新学期事業の中にあるはず」とし、そのことも併せて各会員専務から今考えられる対策などを聞きました。交渉を中断し労組員集会をおこない、ベアゼロや月数では昨年を下回った夏季一時金(1.425ヶ月)については満足できないものの、たいへん意義の深い団交であった。各専務の発言を踏まえて今後の日常業務を成功させよう、その上で年末一時金交渉でまたがんばることを確認し、理事会に「交渉終結」を通告しました。

5/19 京大パート労組、夏季一時金2次回答引き出す！ 妥結方向で論議

一時金の二次回答とともに、中央食堂耐震工事(確定)に伴っては「工事期間中はパート全員京大生協内で働いていただきます。」と専務より回答されました。

パート労組は「まだまだ満足は出来ないが、厳しい経営状況の中、団交での労組員の声を受けとめて2次回答が出されたこと、耐震工事に伴う雇用確保は評価したい」

<夏季一時金・2次回答>

- ・旧長期パート : 0.96ヶ月 1次回答 0.95ヶ月 (昨: 基準時間×180円)
- ・それ以外のパート: 0.09ヶ月 1次回答 0.08ヶ月 (昨: 4000円+年×300円)

5/18 大阪電通大パート労組・春闘執行部交渉を行う！ 二次回答をする判断材料はない(理事会)

専務より回答主旨が説明され、3~4月の経営数値が報告されました。「供給高は1億8781万円で前年差1330万円、予算差1651万円。事業剰余は1418万円で前年差270万円、予算差407万円。パートのみなさんにがんばってもらっていることはわかってはいる。その上で新学期の結果が直結すること、しないことはあるが、現在の状況で回答に上積みする判断はできない。予算に戻せるよう、普段からやってもらっていることを引き続きしっかりお願いしたい。」

労組は質疑応答を踏まえた結果、一旦持ち帰ることとし交渉を終了しました。

5/19 大阪府大統一・パート団交を行う！ 団交で労使の共有がすすんだとして妥結

冒頭、専務は「新学期大奮闘いただき、あらためて感謝します。」と発言し労働者を労った上で回答の補足説明、3~4月経営数値が報告されました。供給高が2億4550万円で前年差2405万円。事業剰余は1408万円で前年差365万円、という厳しい内容で、上積み再回答できる状況ではないと述べました。

労組はショップ・旅行サービスカウンターでの残業対策(帰りたくても帰れない実態)や人件費予算がコントロール出来ていないことなどを指摘しつつ、再回答をめざして粘り強く交渉しました。再回答には至らなかったものの、専務理事の考え方が一定理解できたこと、数字が回復できれば年末一時金では期待できることなどを労組員集会で確認、今春闘・夏季一時金は妥結・收拾する旨通告して終了しました。なお上記の残業実態の改善について、対策などの進捗状況を専務が労組に報告することを約束しました。

5/18 コープ自然派労組二次回答！ ピュア大阪正規5人全員労組加入！

自然派労組では結成後に基本要件を出し一次回答では要求は認められませんでした。リンクスとは交渉を行い、ピュア大阪には再要求書を出し、両者から二次回答を受け取りました。会議室の使用、掲示板の設置について前進がありました。チェックオフ、労組室、時間内活動については認められず、継続交渉になっています。尚、このたたかひのなかでピュア大阪の正規5人全員が労組加入しました。